

ピーフォス ・ ピーフォア
PFOS・PFOA とは？

「有機フッ素化合物（^{ピーファス}PFAS）」の一種です

- 2000年代はじめごろまで、さまざまな工業で利用されました
私たちの身の回りの製品を作る際にも使われていました
- 2009年以降、環境中での残留性や健康影響^{けねん}の懸念から、
国際的に規制が進み、現在では、日本を含む多くの国で
製造・輸入等が禁止されています
- 日本国内でも、新たに作られることは原則ありませんが、
分解されにくい性質があるため、今も環境中に残っています

正式名称 と 主な用途

ピーフォス パルフルオロオクタンスルホン酸
• **PFOS** (Perfluorooctane sulfonic acid)

主な用途 メッキ処理剤、泡消火薬剤 など

ピーフォア パルフルオロオクタン酸
• **PFOA** (Perfluorooctanoic acid)

主な用途 撥水剤、界面活性剤 など

- ✓ 環境省や自治体が、
河川等のPFOS・
PFOA濃度を測定※
・公表しています

※ 2009年より測定を実施



- ✓ 測定結果によると、
環境中のPFOS・PFOAは、
少しずつ減っています



- 環境省では、2020年に水道水や環境中の水の目標値を定め、
飲み水からの摂取を防ぐ取組を進めています
- 2024年6月には、食品安全委員会が健康影響について
包括的に評価を行い、その結果を公表しました
- これを踏まえつつ、環境省では、安全・安心のための
取組を引き続き進めます



詳しい情報・最新の情報は [環境省 PFAS](#) で検索し、環境省HPをご覧ください

ピーフォス・ピーフォア

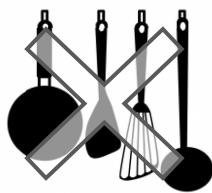
PFOS・PFOA

暮らしの中の Q&A

“フッ素コーティング製品”に
使われている？

使われていません

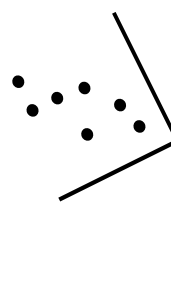
PFOS・PFOA以外の
フッ素化合物が
使われています



はっすい・はつゆ
昔は、フライパン等の撥水・撥油加工に用いられるフッ素樹脂の製造の際にPFOAが使われていましたが、今は使われていません
(法規制だけでなく、企業の自主的な取組により、使用廃止されました)

体に入ったらどうなる？

はいせつ
自然に排泄されて徐々に減ります

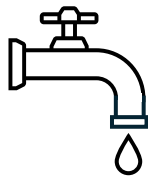


体に入った量が
半分に減るまでの期間は
PFOSでは平均 5.7年、
PFOAでは平均 3.2年と
報告されています

はいせつ
排泄されます

水道の水は大丈夫？

水道事業者(自治体の水道局)等が
水道水中の目標値※を超えないよう
取り組みを進めています



※ 1リットルあたり 50ナノグラム

毎日2リットル、一生飲み続けても
健康への悪影響が生じないと考え
られるレベル

目標値を超えた水を
飲んだけれど大丈夫？

まだ、わからないことが多いため、
PFOS・PFOAの健康への影響につ
いて調査や研究が進められています

目標値を超えていた地域の健康調査に
おいて、他の地域との明らかな傾向の違い
は出ていません
また、飲料水による個人の健康被害は
国内で確認されていません



水だけじゃなくて、食べ物は？ 普通に生活していて大丈夫？

食品の安全性を科学的に評価する国の機関である食品安全委員会は、
「通常の一般的な食生活では、著しい健康影響が生じる状況にはない」と評価しています

「現時点の情報は不足しているものの、通常の一般的な国民の食生活(飲水を含む)から食品を通じて摂取される
程度のPFOS及びPFOAによっては、著しい健康影響が生じる状況にはないものとする」(2024年6月)

詳しい情報・最新の情報は [環境省 PFAS](#) で検索し、[環境省HP](#)をご覧ください

お住まいの地域の状況は、お住まいの都道府県等の水環境担当、地元の水道局等にお問い合わせください